

平成29年度第4回 田辺市障害者施策推進協議会 会議録

1. 開催日時 平成30年2月27日 火曜日 午後7時30分～午後8時45分
2. 開催場所 田辺市民総合センター 1階 機能訓練室
3. 出席委員 委員27名中 出席22名 欠席5名
4. 事務局 障害福祉室 山田室長、山崎主任、梶垣事務員
5. 傍聴者 2名
6. 内 容
 - ① 開 会
 - ② 会長挨拶
 - ③ 議 題
 - (1) 田辺市第3期障害者計画及び第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画(素案)について
 - (2) 田辺市職員対応要領について
 - (3) その他
7. 議題に対する質疑応答

議題(1) 田辺市第3期障害者計画及び第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画(素案)について

●会長

田辺市の特色を加えてくれたのは良かったのですが、自立支援協議会の機構図とか文書の量とか、もっと遠慮せず書いてくれても良かったのではないかと思います。内容的には問題がなかったのでこれで良いかと思います。

障害者の雇用の問題で、容器包装リサイクルや公園清掃などでの雇用は増えたと思うのですが、一般就労の部分で、IQ20から30程度の方で3年か4年がかりでプログラムを組んである市の採用試験に一般の正職員と同じ試験を受けて合格している事例もあります。A型やB型の福祉的就労は一定実績がありますが、一般就労がなかなか伸びていないことが今後の課題として考えていただきたいです。

●Y委員

数値予測の根拠が月ごとにバラバラで出しているのですが、ルールというものは。

○事務局

まだ終わっていない29年度の実績については、どの月で予測するかは別として、予測時点の数値をもとに年間の推計を行います。その後27、28年度と併せ年度ごとの数値の伸び率や、国から示された利用の希望があるか、入院している方がどれだけ地域に

戻ってきて例えば作業所に通い始めるのか、入所施設ではどれだけの地域移行があるのか等の見込みを出したうえで、30～32年度の数値を予測してくださいというのが国の考え方ですが、退院や地域移行する人数などは把握しづらいため、多くは27～29年度の数値の増減、変動を基にして予測しているのが実情です。

●Y委員

保健・医療体制の整備のところ、「医療体制の整備」が「医療体制の充実」に変更されていますが、この違いは何ですか。福祉サイドだけでは受入の難しい方も増えてきているので。

○事務局

関係課に照会の結果、変更した記述です。「整備」となれば、確実に「これだけのものを作ります」というような形になりますが、市の行政の権限では実施できない部分なので、連携による「充実」という表現に変えさせていただきました。

●N委員

巻末の用語集は、わかり良いと思いますが、計画全体の分量に比べ、収録数が少ないような気がします。

○事務局

内容を検討し、必要な項目は追加します。

●F委員

本文61ページの修正箇所の説明資料で「ひきこもり」が抜けています。また、86ページの修正箇所の説明では「手話通訳者または手話通訳者」となっていますが。

○事務局

「手話通訳士または手話通訳者」の誤りです。

●Y委員

資料の中に、そもそもこの計画はどういったものか、という説明も必要なのではないですか。

○事務局

そのことも含め、用語集の項目を見直します。

議題(2) 田辺市職員対応要領について

●Y委員

対象となる障害者の説明で、別紙の留意事項においては「難病に起因する障害を含む。」との説明が括弧書きで示されているので、対応要領本文の第2条も同じようにそろえればどうですか。

○事務局

国の基本方針及び各省庁の対応指針の表現を用いていますが、支障がなければ加えることは可能です。

議題(3) その他

提案事項なし